

第36回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

B.情報・交通

【HP 掲載No. B05】

発表No.	B05
タイトル	公共交通軸と居住地・従業地の分布に関する全国的分析
所属・名前	株式会社日建設計総合研究所 齋藤 悠宇 株式会社日建設計総合研究所 笥 文彦 株式会社日建設計総合研究所 安藤 章
キーワード	① 公共交通とまちづくりの連携 ② 地域メッシュ統計 ③ GTFS データ
<p>近年、公共交通とまちづくりの連携が重要視されている。本稿は、全国を対象に公共交通のサービスレベルを空間的・時間的指標で評価し、公共交通軸の位置と居住地分布の関係性を明らかにすること、そして公共交通軸の確保の観点から、路線バスの運行頻度と居住地分布・従業地分布の関係性を明らかにすることを目的としている。結果として、人口密度が高いエリアは公共交通沿線地域に含まれやすく、運行頻度が高い地域では人口密度も高くなる傾向が見られた。特に人口密度 40 人/ha 以上のエリアでは、平均約 7 割を公共交通沿線地域が占める結果が示された。また、居住地でなくとも従業地が路線バスで中心部と接続することで、路線バスの運行頻度を維持できる可能性が示唆された。</p> <p>結論として、これまで立地適正化計画において着目されてきた人口密度の分布に加えて、従業者数密度の分布を工夫することで地域公共交通の運行頻度の増加に寄与できると考えられる。</p>	